

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年9月4日(金) 11:00～11:30

場 所：理学部 13 番教室(理学部 1 号館 1 階)

### 発表事項

1. 新研究科等の設置について
2. 大学・企業の連携による女性研究者の活躍支援事業を開始します

### お知らせ

1. 『平成27年度奥の細道マイスター養成事業公開講座』について
2. 三大学合同「不思議で楽しい科学・理科体験教室」を東京サテライトで開催
3. 人文学部公開講座「地域を学び、地域を考える」の開催
4. 「ドキュメンタリーに見る現在 台湾の光と影 映像は語る」について
5. 山形大学参加のNASAの小型衛星計画が第一次審査通過
6. 勉強会&米粉100%パン作り体験「あなたも米粉料理で大発明」の開催
7. 第8回山形大学高校生朗読コンクールの開催（再通知）

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成27年9月15日(火)11:00～11:45

場 所:事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

平成27年9月4日  
山形大学

## 新研究科等の設置について

平成28年4月に大学院有機材料システム研究科と大学院理工学研究科・物質化学工学専攻を新設します。

8月21日付けで文部科学省に有機材料システム研究科（研究科の設置）と理工学研究科・物質化学工学専攻（研究科の専攻の設置）に関する「設置報告書」を提出しました。

今後、速やかに学生募集を開始し、平成28年4月から学生を受け入れます。

なお、本学における研究科の設置は、平成21年4月の教育実践研究科以来となります。

新研究科等の概要は以下、及び別添のとおりです。

### ●有機材料システム研究科（研究科の設置）

博士前期課程 有機材料システム専攻 入学定員 65 学位 修士（工学）

博士後期課程 有機材料システム専攻 入学定員 10 学位 博士（工学）

#### ① 人材の養成

有機材料を最大限に活用した新たな付加価値を持つシステム、すなわち有機材料システムは、人と人、人とモノを有機的につなげ、アンビエントな社会を実現するための社会基盤技術として高まっている分野であり、当該技術を社会（地域）実装するためのエンジンとなる人材を養成する。

#### ② 教育研究上の目的

有機材料分野の基礎から応用に至る知識を修得することのみならず、他分野との融合や境界領域での研究開発・実用化技術開発を推進できる人材、グローバルな視点から自分の考えを提案、更にはリーダーシップを発揮できる人材を育成することを教育の目標とし、有機材料分野及び他分野との融合領域で世界をリードできるような成果の創出を研究の目的とする。

●理工学研究科（専攻の設置）

博士後期課程 物質化学工学専攻 入学定員 3 学位 博士（工学）

① 人材の養成

- ・産業基盤を支える化学技術の発展に向け、新たな物質の創成や新技術の開発などを行える人材
- ・最先端の科学技術と広汎な基盤的技術を共に修得し、研究開発の場において先導的な立場に立てる人材
- ・幅広い素養と柔軟な発想を持ち、グローバルな情報収集能力と発信能力を備えた人材

② 教育研究上の目的

①に示した人材を養成するとともに、博士後期課程の研究を通して、環境・エネルギー・食料・健康等の地球規模で抱える諸問題の解決、新規無機・有機材料、ナノ粒子等の機能性物質の創成、新たな化学分析技術の開発、低コスト・高性能化学装置の開発に必要な知見の蓄積等を行い、化学・化学技術の発展と化学産業の基盤強化に貢献することを目的とする。

●研究科の設置と理工学研究科の専攻の設置に伴う研究科の専攻の廃止・入学定員の変更

○研究科の専攻の廃止

理工学研究科

博士前期課程	機能高分子工学専攻【廃止】	△30
博士前期課程	有機デバイス工学専攻【廃止】	△25
博士後期課程	有機材料工学専攻【廃止】	△ 9

○入学定員の変更

理工学研究科

博士前期課程	ものづくり技術経営学専攻 [定員減]	△ 4
博士後期課程	電子情報工学専攻 [定員減]	△ 1
博士後期課程	機械システム工学専攻 [定員減]	△ 1
博士後期課程	ものづくり技術経営学専攻 [定員減]	△ 2

（お問い合わせ先）

工学部事務部 事務部長 高橋俊一

Tel : 0238-26-3001

Mail : koumcho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- ◇ 有機材料システム研究科(研究科の設置)
- ◇ 理工学研究科 博士後期課程 物質化学工学専攻  
(研究科の専攻の設置)

現 状

大学院理工学研究科

博士前期課程

- 物質化学工学専攻 38人
- 有機デバイス工学専攻 25人
- 機能高分子工学専攻 30人

博士後期課程

- 有機材料工学専攻 9人

有機デバイス工学分野 機能高分子工学分野

物質化学工学分野

(研究科の設置)

(専攻の設置)

大学院有機材料システム研究科

有機材料システム専攻

博士前期課程 65人

博士後期課程 10人

主な教育研究分野

基礎

分子創成  
分子プロセス  
解析

応用

有機EL                      Liイオン電池  
有機トランジスタ          バイオ材料  
有機太陽電池                スマートプリンタ

融合システム

快適空間  
ヘルスケア  
有機ICT  
スマートデバイス

大学院理工学研究科

博士前期課程 (既設)

物質化学工学専攻 38人

博士後期課程 (専攻の設置)

物質化学工学専攻 3人

主な教育研究分野

基礎

有機化学  
無機化学  
物理化学  
化学工学  
電気化学

エネルギー化学  
電子移動  
計測化学  
分析化学  
固体物性

超伝導材料  
セラミックス  
機能性材料  
環境化学

応用

エネルギー制御  
プロセス開発  
安全工学  
設備開発

平成27年9月4日  
山形大学

## 大学・企業の連携による女性研究者の活躍支援事業を開始します。

10月1日米沢キャンパスに連携拠点を設置。仕事と生活の両立支援、共同研究開発支援等を進め、女性研究者の研究力向上と上位職への積極登用を図ります。

山形大学の特色をなす有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画をテーマに、これまでの連携実績を活かして共同実施機関（大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学）と共に、ワーク・ライフ・バランスを支援し、女性研究者が参画する共同研究を推進します。

### 1. 文部科学省補助事業名

平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

### 2. 推進体制

3機関によるダイバーシティ連携推進会議の設置

事務局：山形大学男女共同参画室（男女共同参画推進室米沢分室）

### 3. 取組の概要

- ・両立支援制度の構築：研究支援員制度、研究中断者の復帰支援制度等
- ・女性研究者の裾野拡大：大学・企業交換留学プログラム、メンター制度等
- ・女性が参画する共同研究促進：共同研究開発ワークショップ・自己啓発合宿等
- ・女性リーダー輩出：女性が代表となる共同研究への研究支援、セミナー等

### 4. 3機関合同セミナー・管理職研修会の開催（どなたも参加できます）

- ・平成27年10月23日（金）

第1部（13:00～14:45）共同研究開発セミナー

第2部（15:00～17:00）ダイバーシティ研究環境実現 管理職セミナー

- ・特別講演 「女性研究者のこれまでとこれから～今がチャンス！  
未来創造への参画の期待～」

小舘香椎子氏（電気通信大学特任教授、日本女子大学  
名誉教授）

（お問合せ先）

山形大学男女共同参画推進室・木村

電話：023-628-4937

E-mail:y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# NEWS LETTER

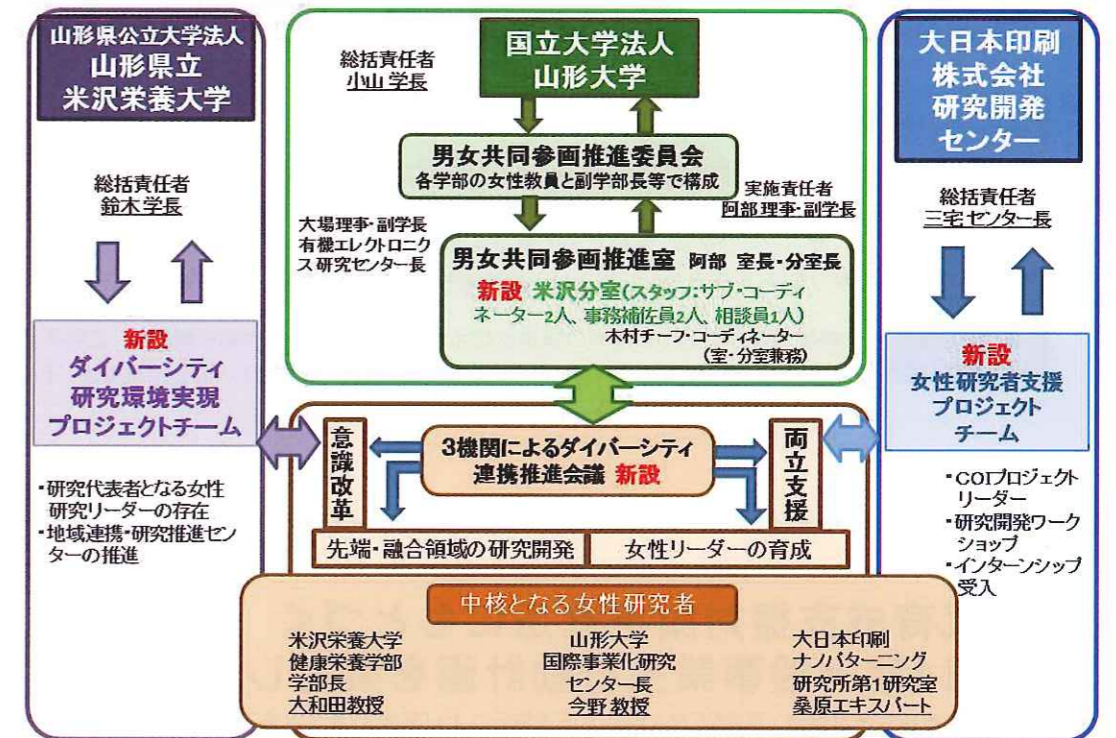
No.17  
2015

平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業

## 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」に採択されました テーマ「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」

(連携機関) 山形大学 大日本印刷株式会社 研究開発センター 山形県立米沢栄養大学

### 連携体制・役割分担



女性研究者の裾野の拡大と、女性研究者の研究力向上及び上位職への積極的登用を目的とした補助事業(連携型)に採択されました(7月15日発表)。  
3機関が連携し女性の共同研究を支援することで、目的を達成する事業です。



宮嶋 先生  
工学部システム創成工学科・助教



### 「玉琢かざれば器を成さず、人学ばざれば道を知らず」

◎プロフィールを教えてください。

高校生の時に、理科実験で見た金属の炎の美しさが化学に興味を持ったきっかけです。大学入試の時に、周りの先生方から意見を頂き、当時最も新しく、確立してから40数年しかない高分子材料分野(Staudingerの高分子説、1953年Nobel化学賞)を志願しました。

中国河南省にある鄭州大学で7年間(中国のほとんどの大学は、修士課程が3年です。)勉強し、修士を修了してから、2005年10月に国費留学生として岡山大学の博士課程に入学しました。2008年博士学位を取得後、ポストドクター、会社員、プロジェクト教員を経て、現在本学工学部システム創成工学科の教員として学生の教育に従事しています。さらに、分野横断・融合研究者として、化学、高分子以外の分野、機械(デバイス、ロボット)や物理(光学、放射線)等の広い分野の方々と共同研究を行っており、学際的な新分野の開拓に取り組んでいます。

◎これから研究者を目指す人や学生へのアドバイスをお願いします。

「玉琢かざれば器を成さず、人学ばざれば道を知らず」(漢文原文:玉不琢不成器、人不学不知道。出典:約3000年前の『礼記・学記』)。玉は(もともと美しいが)削って形を整えなければ、器物としての用をなさない。同じように、人も学ばなければ、人としての正しい道が分からない(立派な人物になることはできない)。

「学ぶ力」を身につけてください。学ぶ力は、人にとって、特に研究者にとってはタカラです。研究者には、インプットとアウトプットは非常にアンバランスなものです。百を学んで、アイデアや成果になるのは一か零です。人の役に立つ研究をするには、これからはたくさんのことを学んでください。もちろん研究者にならなくても、学ぶ力を持っていれば、どんどん変わっていく環境や時代とともに成長し続けることができます。

◎どのような研究をされているのですか。

結晶性材料、主に結晶性ソフトマターを専門にしています。材料の「組成/構造/かたち」の設計・制御をナノスケールからミクロスケールまで行っています。多彩な「物性」の起源である結晶構造や分子運動を解明し、ゴムの大変形と形状回復特性及びプラスチックの高強度特性の両方を併せもつ結晶性ゲルの開発に取り組んでいます。さらに、これらの強靱結晶性ゲルを高透明化し、レンズなどの光学素子、野菜や果物の鮮度保持への応用を検討しています。

### 育児休業を取得された男性研究者 深澤 知先生(理学部)からの 子育てメッセージ 「超人的な努力を実感しました。」

(平成26年度に48日間の育児休業を取得されました。また、基盤教育ベストティーチャー新人賞も受賞されています。そんな先生からのメッセージです。)

今年2月に2人目の子どもが生まれ、出産後の特別休暇の後、育児休業を取得しました。学科の先生方のご理解があって、授業のテスト、委員会ほか私がやるべき仕事を負担してくださいました。家庭では家事、育児ともに妻と分担しました。

充実した時間を過ごせたのを前提にネガティブなことを書きますが、育児がこんなに「時間を拘束」されるものとは思いませんでした。上の子と下の子が起きている時間の和で拘束されるので、家事に取られる時間も含めると、1日のうち1時間、自分の時間がとればラッキーでした。

このページでは毎回女性の先生方がメッセージを書かれていますが、超人的な努力をされているのだと育児休業を通して実感いたしました。



理学部数理科学科 深澤 知 准教授  
3歳と0歳のお子様と

Information 9月30日(水)

#### 女性限定教員公募3件実施中

- ◎締切: 9月30日(水)
- ・バイオ化学工学分野 助教1名
- ・応用生命システム工学分野 准教授または助教1名
- ・食品栄養化学分野 准教授または助教1名
- ※詳細は大学HPをご覧ください。

Information 11月2日(月)

#### 工学部女性研究者裾野拡大セミナー

- ◎日時: 11月2日(月) 14:25 ~ 16:30
- ◎場所: 工学部5号館2階227講義室
- ◎内容: 講演「理系研究の魅力とは ~山形大学YU-COE(C) TASTY拠点研究紹介~」

Information 12月19日(土)

#### 理学部女性研究者裾野拡大セミナー

- ◎日時: 12月19日(土)
- ◎場所: 理学部1号館(教室未定)
- ◎内容: 「理学部研究室訪問」学科案内、研究室訪問、実験・模擬授業等

編集後記/10月1日から米沢キャンパスにダイバーシティ推進室(男女共同参画推進室 米沢分室)がスタートします。工学部1号館211室ですので、どうぞお立ち寄りください。ワーク・ライブ・バランスの環境を整え、女性研究者によるプロジェクト等への参画や新たな共同研究の開発を後押しします。(2015年9月)



#### 山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
TEL 023-628-4937/4938/4939  
E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/

# 3機関の強みを活かし、女性研究者の活躍促進を図ります

- 1. 両立支援制度の構築**  
男女共同参画推進室米沢分室  
相談員制度  
託児サポーター制度 他
- 2. 女性研究者の裾野拡大**  
交換留学プログラム  
博士課程進学相談会  
メンター制度 他
- 3. 女性を含む共同研究促進**  
研究継続支援員制度  
復帰支援制度  
研究開発ワークショップ 他
- 4. 女性リーダー輩出**  
女性が代表の共同研究支援  
自己啓発合宿 他



## 選定コメント(科学技術振興機構「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業委員会」)

- 評価できます** 代表機関の特色をなす有機エレクトロニクス研究及び実証ハウス研究におけるこれまでの実績を活かし共同実施機関と協働し、女性研究者が参画する共同研究を推進するとともに、研究スキルアップ支援、リーダーシップ育成、裾野拡大の取組を進め、工学系分野を中心に優れた女性研究者を女性限定公募等のポジティブ・アクションにより上位職階教員(教授、准教授)として積極的に登用する計画は評価できる。
- 期待します** 3機関の強みを活かし既存の連携を超えたより密接な連携体制を構築し、工学系分野のみならず自然科学系の広い分野において女性研究者の上位職(教授、准教授)への登用を進め、その活躍促進を図ることを期待する。

## 次世代育成支援対策推進法にもとづく第4期一般事業主行動計画を策定しました。

次世代育成支援対策推進法(平成26年4月の改正法施行により平成37年3月まで延長)により、次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を一層進めるため、行動計画を策定・実施しています。  
本学では、第4回目の行動計画期間を平成27年度からの4年間とし、次のように策定いたしました。



第3期(平成23年度~26年度)	達成状況	第4期(平成27年度~30年度)
目標1 育児休業の取得状況を次の水準以上にする。 男性職員…1人以上の職員が取得すること。 女性職員…取得率を80%以上とすること。	達成 6人取得 85.7%	目標1 引き続き継続して達成を図ります。
目標2 子の看護のための特別休暇が取得しやすい環境とするため、1日又は1時間単位で取得できるよう制度を整備充実するとともに広報にも努める。	達成 就業規則改正(24年)	目標2 新規策定 ワーク・ライフ・バランスに関する懇談会やセミナー、シンポジウム等を年1回以上開催します。
目標3 夏季・年末年始の計画休暇(一斉休業)の長期化を図り、生活のサイクルを踏まえた休養を推奨するなど、効果的な年次有給休暇の取得促進を図る。	年休取得 平均7.3日/年	目標3 引き続き継続して年休取得促進を図ります。

男女共同参画セミナー(7月1日(水))

## 「コンフリクトへの応答~医療メディエーション概念への誘い~」

講師 中西淑美 准教授(山形大学医学部総合医学教育センター)

「なぜ、この気持ちをわかってくれないのだろう」、「なぜ、こんなことで怒っているのだろう」と、私たちは日常、様々な意見や利害の対立に直面しています。このような状況をコンフリクト(矛盾・不調・葛藤・不一致・対立・紛争等)と呼びます。このコンフリクトをうまくマネジメントしていくための手がかりを、ワークショップも含めて医療メディエーションの概念から楽しく教えていただきました。



### コンフリクトへの応答… あきらめず「対話すること」

コンフリクトは、「認知の齟齬」から生まれます。その背景には関心や利害、価値観や必要性、世界観などの違いがあります。コンフリクトは、相手方との間だけでなく、自分自身の中にも「これでいいのだろうか」と葛藤が生じます。自分の中にある葛藤と相手方とのトラブルは相互に密接に結びついています。だからこそ、対処が難しいのですが、同時にそこにマネジメントしていくための手がかりがあります。  
違いを理解するためには、他者のフレームから問題を眺める作業が必要です。そのためには対話を促進する必要があります。  
恐れず、待ち、あきらめず「対話すること」によって生み出される関係の「質」の向上によるコンフリクト・マネジメントが大切です。

教職員、医療関係者、一般の方々を含む30人の参加者が熱心に聞き入りました。コンフリクトを抱えているという参加者から、「楽しく拝聴した。頭の中を整理することができた。」という感想がありました。

## ワーク・ライフ・バランス(WLB)で自己啓発

小白川キャンパス ランチミーティング 6月10日(水) 12:15~13:00

新任の方々と第1回のランチミーティングを開催しました。現在、単身赴任という方からの話題提供の後、フリートキングとなりました。「休みを取りやすい雰囲気はあるし、いろんなことをやってみたいと思うが、本当に休んでいいのかわからない」という若手職員の言葉に、「率先してやってみよう。」という先輩の励ましがありません。



## これが研究者の仕事と生活

地域教育文化学部 男女共同参画パネル展 8月1日(土)オープン・キャンパス

大学教員の仕事と生活の一面を17枚のパネル写真で紹介しました。10人の女性教員の姿や家事・育児に取り組む7人の男性教員の微笑ましい姿があり、「お子様と一緒に写っている先生方に大変親しみが持てます」「普段見ることのできない表情を見ることができてよかった」という感想が寄せられました。



## 「研究者を目指したい!」を応援します。(8月2日(日))

農学部 女性研究者裾野拡大セミナー 「農学部女子! 研究者になる!! ~それってどんな?何するの?~」

「将来、研究者になりたい!」そんな思いを抱いていても、高校生にとって「研究者」は漠然としていて将来像を描くのは難しいものです。そこで、具体的に考える機会として企画されました。最初に、藤井弘志教授から「農学部女子卒業生の最近の就職状況と研究職における職務内容」と題して紹介があった後、卒業生である渡部貴美子氏(山形県農業総合研究センター水田農業試験場)から研究員としての職業紹介を、森静香准教授から、研究者としての歩みをワーク・ライフ・バランスの視点から講話があり、その後、ランチをとりながら交流をしました。参加した高校生の一人は、「研究者になるためには、その道で食べていく覚悟がなければ、就いてはいけな職業だと思いました。だからこそ、その道に進んだ女性はとても輝いているように見え、憧れています。ぜひ来年、山形大学の学生として入学し、研究者を目指したいです!」と感想を述べていました。



参加者57人(女子高校生34人、保護者他)

平成27年9月4日  
山形大学

## 1. 『平成27年度奥の細道マイスター養成事業公開講座』について

- 日時：平成27年10月17日（土）13:00-16:30
- 場所：山形大学農学部、藤沢周平記念館ほか
- 内容：第一部 文学散歩「奥の細道と藤沢周平文学ゆかりの地」  
第二部 講演「松尾芭蕉の庄内、藤沢周平の海坂」
- 定員：文学散歩40名、講演80名
- 参加費：500円（文学散歩参加者のみ）
- 込方法：チラシ裏面の受講申込書により郵送、FAX、メールのいずれかで  
お申込みください。
- 受付期間：平成27年9月3日（木）～10月13日（火）  
詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 2. 三大学合同「不思議で楽しい科学・理科体験教室」を東京サテライトで開催

この企画は、東京工業大学キャンパス・イノベーション・センター（CIC）にオフィスを持つ大学が、地元の子どもたちに、理科・科学への興味を深めてもらうことを目的として、愛媛大学、高知工科大学と合同で開催するものです。

- 日時：平成27年9月27日（日）10:00-16:30
- 内容：山形大学では「コンパスを手作りしよう」、「科学に関する展示」の2つのコーナーを設け、担当教授1名と学生スタッフ3名が指導します。
- 場所：東京工業大学CIC 5階（東京都港区芝浦3-3-6）
- 対象：小学生以上（事前申込制）※参加費無料  
詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 3. 人文学部公開講座「地域を学び、地域を考える」の開催

人文学部では、10月1日（木）より毎週木曜日5回にわたって公開講座を開講します。本講座では、「地域を学び、地域を考える」と題し、各講師それぞれの視点から、地域が抱える課題を克服し、活力を取り戻す道を探ります。

- 日時：毎回木曜日 18:30-20:10
- 10/1 「地方財政の現状と地域が抱える課題」 講師：坂本 直樹（人文学部准教授）
- 10/8 「デマンド型交通と高齢化社会」 講師：砂田 洋志（人文学部教授）
- 10/15 「地域包括ケアシステムと会計」 講師：尻無濱 芳崇（人文学部講師）
- 10/22 「廃棄物政策と地域活性化」 講師：杉野 誠（人文学部准教授）
- 10/29 「地方圏の製造業と医療機器産業」 講師：山本 匡毅（人文学部准教授）
- 対象／定員：一般市民・大学生・高校生／定員30名
- 受講料：一般 2,000円 ※大学生・高校生は無料
- 募集期間：平成27年8月31日（月）～9月25日（金）  
詳細は別紙チラシをご覧ください。



#### 4. 「ドキュメンタリーに見る現在 台湾の光と影 映像は語る」について

山形大学人文学部附属映像文化研究所と台湾文化部は、10月9日～11日に遊学館において「ドキュメンタリーに見る現在台湾の光と影 映像は語る」を開催します。

本企画につきましては、映像文化研究所として報道各社の皆様に記者会見へのご案内を差し上げ、9月1日(火)に紹介する予定でございました。しかし9月1日の記者会見が本日(4日)に延期になった上、企画者の3教員が、現在、台湾出張中であるため、本企画につきましては、9月15日(火)開催予定の学長定例記者会見で説明させていただきます。

諸般の事情をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

—本件お問い合わせ先—

人文学部附属映像文化研究所

「2015 台湾ドキュメンタリー特集」運営委員会

Tel: 023-628-4203 Mail: yu.tw.gilm@gmail.com

#### 5. 山形大学参加のNASAの小型衛星計画が第一次審査通過

本学の郡司修一教授が参加している小型衛星計画IXPEが、NASAの一次審査を通過しました。今回選ばれたプロジェクトは13件中3件。さらに1年後の二次審査に通過すれば2020年頃に打ち上げられ、偏光という新しいプローブで様々な宇宙の高エネルギー現象を観測します。

詳細は別紙をご覧ください。

#### 6. 勉強会&米粉100%パン作り体験「あなたも米粉料理で大発明」の開催

○日時：平成27年9月5日(土) 13:00-16:30

○場所：山形県立米沢栄養大学

○内容：勉強会&米粉100%パン作り体験

○参加費：無料

○参加資格：学生限定

○持ち物：筆記用具、エプロン、三角巾

詳細は別紙チラシをご覧ください。

#### 7. 第8回山形大学高校生朗読コンクールの開催(再通知)

○日時：平成27年9月13日(日) 13:30-17:00

○会場：山形市中央公民館多目的ホール

○入場料：無料(全席自由)

○入場・応募方法：事前のお申し込みが必要です。詳細は別紙チラシをご覧ください。

以上

平成27年度

山形大学 奥の細道マイスター養成事業

公開講座

山形大学では、平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター講座」を山形・宮城県内で開講しています。今回鶴岡市で中級講座を開講するにあたり、講義の一部を公開講座として広く一般に開放します。

『おくのほそ道』に加えて、山形大学地域教育文化学部の前身の山形師範学校を卒業した作家、藤沢周平の作品世界を探訪します。

平成27年**10月17日(土)** 13:00~16:30

## 文学散歩

### 奥の細道と藤沢周平文学ゆかりの地

- 開催時間 13:00~15:20
- 集合場所 山形大学農学部1号館入口 ※12:30までにお越しください。  
(山形県鶴岡市若葉町1-23:旧国道7号線側)
- ナビゲーター 山形大学 教授 山本 陽史

#### 予定コース

農学部発～長山重行邸跡(松尾芭蕉が滞在)～内川乗船の地～  
内川(海坂藩ものの五間川のモデル)岸边散策～致道館(旧藩校)～  
藤沢周平記念館～農学部到着(15:20を予定)

## 講演

### 松尾芭蕉の庄内、藤沢周平の海坂

- 開催時間 15:30~16:30
- 会場 山形大学農学部 102教室
- 講師 山形大学 教授 山本 陽史

◆ 受付期間: 9月3日(木)～10月13日(火)

※受付開始前のお申込みは無効となりますのでご注意ください。

**参加者募集(先着順)**

文学散歩 40名・講演 80名

◆ 申込方法: 裏面受講申込書に必要事項をご記入の上、  
郵送、FAX、メールのいずれかでお申込みください。

◆ 注意事項: 荒天の場合には、文学散歩のルート変更や、  
藤沢周平記念館の見学のみとなる場合がありますので、  
ご了承ください。

**参加費 500円**

(藤沢周平記念館入館料・保険料等)

文学散歩参加者のみ  
当日現金でいただきます  
(講演のみの参加は無料)

お問合せ  
お申込み

山形大学エンrollment・マシメント外部社会連携課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4016 FAX: 023-628-4491

E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈申込先〉 山形大学EM部社会連携課  
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
FAX:023-628-4491  
E-mail:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 「平成27年度 奥の細道マイスター養成事業」 公開講座 受講申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、メールのいずれかでお申込みください。

受付  
期間

平成27年9月3日(木)～10月13日(火)

- 公開講座の受付は、先着順となります。
- **受付開始前のお申込みは無効となりますので、ご注意ください。**

ふりがな お名前  (生年月日)		性別
		男・女
ご住所	〒 -	
連絡先電話番号	ご自宅: - - 携帯電話: - -	
メール		@
参加方法 希望に○をつけてください	※文学散歩ご参加の方は、講演会もご聴講ください 文学散歩 + 講演 ・ 講演のみ	

※今回記載していただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

※文学散歩は、安全な道・場所を引率者が配慮の上ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。

(仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)

不思議で楽しい!

# 科学・理科 体験教室

## 山形大学

### ●コンパスを 手作りしよう

磁石とスチロール球で簡単な  
方位磁石を作ってみよう!



### ●科学に関する展示

- 骨格が透けてみえる、魚などの生き物の「透明標本」を見てみよう!
- 水の中では固まって、水から取り出すとサラサラになるふしぎな砂「マジックサンド」に触ってみよう!



科学や理科への興味、関心を高めてもらうために、3大学が東京に集結して、体験教室を開催します。どんな不思議に出会えるか、お楽しみに!

## 愛媛大学

### ●虹スクリーンを作ろう!

虹ビーズを使って、虹を観察できるシートを作ってみよう!  
電気を消して懐中電灯を使うと、どんな風に見えるかな?



### ●光の万華鏡を作ろう!

紙コップと特殊フィルム・偏光板で、世界に一つだけの万華鏡を作りましょう。 ・所要時間：15分程度

【\*万華鏡は、お持ち帰りいただけます! \*】

## 高知工科大学

### ●電池と磁石で高速回転! モーターを作ってみよう!

電池、ネオジム磁石、銅線だけで簡単にできる単極モーターが作れるよ! 銅線を好きな形に折り曲げて、自分だけのモーターを作ってみよう!  
・所要時間：20分程度  
・一度に作れる人数：10~20人



### ●展示：磁石と電池で動くもの

リニアモーターカーや単極モーターカーなどを展示するよ!

※一回に体験できる人数に限りがありますので、お待ちいただく場合があります。

2015年



9月27日

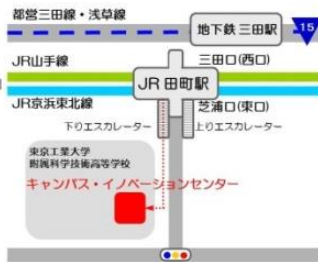
10:00 ~ 16:30

会場:

東京工業大学

キャンパス・イノベーションセンター 5階

(〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6)



対象 ● 小学生以上

参加費 ● 無料 事前申込み制

(定員に達しない場合は、当日申込も可能です)

主催 ● 山形大学、愛媛大学、高知工科大学

締切 ● 2015年9月18日(金)

### お問い合わせ先

山形大学東京サテライト (TEL 03-5440-9071)

愛媛大学東京サテライト (TEL 03-5440-9073)

高知工科大学東京サテライト (TEL 03-5440-9039)

## 注意事項

1. 会場内外での事故等については責任を負いかねます。特に、会場までの行き帰りについては、保護者の方が引率されるなど、児童・生徒さんの安全への配慮をお願いします。
2. 貴重品の会場内への持ち込みはご遠慮願います。やむを得ず持ち込む場合は、各人の責任のもと常に身につけておくようにしてください。
3. 当体験教室会場の模様については、写真撮影の上、各種広報誌やWeb上等に掲載することを予定しておりますので、あらかじめご了承願います。なお、児童・生徒の顔写真の撮影等につき特段のご要望がある場合は、会場受付にお申し出くださるようお願いいたします。



# 科学・理科 体験教室

## 参加申込書

申込先

山形大学東京サテライト宛

FAX: 03-5440-9071 E-mail: tokyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上 F A X をお送りいただくか、以下の情報を入力してE-mailをお送りください。

①

参加者氏名(ふりがな)	( )
ご住所	〒 -
連絡先電話番号	
学年(年齢)	年生 ( 歳)
希望時間帯	<input type="checkbox"/> 午前 ・ <input type="checkbox"/> 午後 希望をチェックして下さい
注意事項	<input type="checkbox"/> 確認済み 表面注意事項を確認の上、チェックして下さい

②

参加者氏名(ふりがな)	( )
ご住所	〒 -
連絡先電話番号	
学年(年齢)	年生 ( 歳)
希望時間帯	<input type="checkbox"/> 午前 ・ <input type="checkbox"/> 午後 希望をチェックして下さい
注意事項	<input type="checkbox"/> 確認済み 表面注意事項を確認の上、チェックして下さい

※必ず保護者の同意を得てから申し込んで下さい。  
 ※参加申込書の個人情報は、本イベントの手続きにのみ利用させていただきます。  
 ※お申し込み完了のお知らせ等は特にございませぬ。

**募集人員** | 一般市民・大学生・高校生 30名  
**募集期間** | 平成27年8月31日(月)～9月25日(金)  
**受講料** | 2,000円(大学生・高校生は無料)  
**お申し込み方法** | 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。  
 なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

**お問い合わせ先** | 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室  
 TEL : 023-628-4203 E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

**会場案内** | 山形大学人文学部1号館1階103教室  
 大学正門を入れて正面の建物です。受付は人文学部玄関にて行います。

**その他** | 【公共交通機関ご利用のお願い】  
 現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。



**シャトルバス運行時刻表**  
<http://www.yamagata-u.ac.jp/pdf/ekijikoku2015.pdf> 参照  
 なお、山形駅行き最終便は18:40発となっております。  
 また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅着の最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

**ご注意**  
 この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



平成27年度山形大学公開講座

「人文学部」



平成27年度

山形大学公開講座【人文学部】

# 地域を学び、 地域を考える

平成27年

**10月1日(木)～10月29日(木)**

講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分【木曜日 計5回】

**【場所】** 山形大学人文学部1号館1階103教室

**【対象】** 一般市民・大学生・高校生 定員30名

**【受講料】** 一般 2,000円 **大学生・高校生 無料**

**【募集期間】** 平成27年8月31日(月)～9月25日(金)

**〈お問い合わせ先〉** 山形大学人文学部事務室

電話 : 023-628-4203

E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- 第1回 10/1 [木] 地方財政の現状と地域が抱える課題  
人文学部准教授 坂本 直樹
- 第2回 10/8 [木] デマンド型交通と高齢化社会  
人文学部教授 砂田 洋志
- 第3回 10/15 [木] 地域包括ケアシステムと会計  
人文学部講師 尻無濱 芳崇
- 第4回 10/22 [木] 廃棄物政策と地域活性化  
人文学部准教授 杉野 誠
- 第5回 10/29 [木] 地方圏の製造業と医療機器産業  
人文学部准教授 山本 匡毅

# 地域を学び、 地域を考える

## 講座の概要

人口減少と高齢化に伴い、過疎化はますます加速し、地域経済は活力を失いつつあります。一方で、地方の行財政は、財政難を背景として、「地方創生」をキーワードとする新たな改革が迫られています。こうした問題にいかに対処すべきかがいま地域社会に問われているといえるでしょう。

この講座では、人文学部法経政策学科の教員がそれぞれの視点から、地域の課題を克服し、活力を取り戻す道を探ります。はじめに、地方財政の現状から見える地域の課題を整理します。次に、人と人がふれあい、安心して暮らすことのできる地域社会を求めて、これからの地域交通と地域医療・介護のあり方を考えます。最後に、地域特性を生かし、持続的に発展する地域産業の振興や地域資源の活用に関する新たな戦略を模索します。

### 第1回

10/1  
[木]

## 地方財政の現状と地域が抱える課題

人文学部准教授 **坂本 直樹**



国の財政とともに地方の財政も厳しい状況にあります。国の財政が累増する政府債務の問題を抱えているとすれば、地方の財政は人口減少による税収減、高齢化に伴う歳出増という構造的な問題にいかに対応するかが課題となると言えるでしょう。また、高齢化による社会保障関係費の増大は国の財政を圧迫しており、地方交付税など国からの財政移転による地方財源の保障は今後ますます困難になっていくものと考えられます。本講義では、こうした地方財政をめぐる現状を踏まえて、地方が限られた財源の中でいかに地域の課題を解決していくべきかを検討します。

【専門領域】 財政学・地方財政論・応用経済学

### 第2回

10/8  
[木]

## デマンド型交通と高齢化社会

人文学部教授 **砂田 洋志**



大都市圏以外では車社会が進化した結果、バスを中心とした公共交通を利用するのは、高齢者と高校生以下の世代、つまり交通弱者だけとなっています。こうして公共交通の利用者が減少した結果、減便や路線の廃止が相次いでいます。このような状況への対策として各地で導入されているのがデマンド型交通です。一言で表すとすれば、乗り合いタクシーです。私が担当する回では、各地の特色ある事例を挙げるとともに、交通弱者の中でも特に高齢者にとって大いに役立つことを示しつつ、デマンド型交通を紹介する予定です。

【専門領域】 計量経済学・統計学

### 第3回

10/15  
[木]

## 地域包括ケアシステムと会計

人文学部講師 **尻無濱 芳崇**



少子高齢化が急速に進む日本において、大きな課題となっているのが、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降の医療・介護のありかたです。この問題に対応し、厚生労働省が打ち出している政策が、地域の包括的な医療・介護の支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築です。地域包括ケアシステムの構築に影響を与える重要な要因の一つに、会計があります。会計は時には地域包括ケアシステムの構築を推進する力になる一方で、構築を阻害する場合もあります。本講座では、地域包括ケアシステムの構築における会計の影響を解説し、今後の展望を示します。

【専門領域】 管理会計・原価計算

### 第4回

10/22  
[木]

## 廃棄物政策と地域活性化

人文学部准教授 **杉野 誠**



地方自治体は、廃棄物の処理を行う義務を負っています。長い間、住民税などの税収から廃棄物処理の費用を賅ってきました。しかし、地方自治体の財政状況の悪化にともない、廃棄物の有料化を実施する自治体が増えてきました。山形市は、平成22年7月より、一般家庭から排出されるごみの有料化を実施しています。「廃棄物政策と地域活性化」では、ごみの有料化を経済学的な視点から検証し、どのように地域活性化が行われているか考えていきます。また、山形市（山形県）が抱える問題にどのように廃棄物の有料化が活用できるかを考えます。

【専門領域】 環境経済学

### 第5回

10/29  
[木]

## 地方圏の製造業と医療機器産業

人文学部准教授 **山本 匡毅**



医療機器産業は、政府のライフイノベーション政策と関連し、成長産業に位置づけられています。従来は東京都を中心として医療機器産業は集積しており、地方圏に医療機器産業が集積していたわけではありませんでした。ところが近年、静岡県、大分県、福島県を中心として医療機器産業クラスターを形成し、他の県でも医療機器産業への参入支援を積極的に行っています。本講義では、地方圏における医療機器産業の展開を具体的な事例を交えながら、特に山形県が強みを持っている製造業の視点から、その動向を明らかにします。

【専門領域】 地域政策論・地域産業論

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号																			
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
												2		0	0	0			
加入者名												料金	備考						
国立大学法人山形大学																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

「地域を学び、地域を考える」申込書

※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部)

○職業をお書きください。( )

○年齢をお書きください。( )

○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。( )

※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナーのご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)

おとご (郵便番号) )

※ おなま ( )

ご依頼人 (電話番号) )

日附印

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)

これより下部には何も記入しないでください。

## 振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
おなま								
ご依頼人							様	
料							日附印	
金								
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないでください。

# GUESTS PROFILE (登壇順)



**楊力州** ヤン・リーチョウ Yang Li-Chou

1969年生まれ。  
高校教師を経て、台湾国立南藝術学院音像紀研究  
研究所卒業。一貫してドキュメンタリーを制作。初期作  
は『Love (080)』(1999)、『新宿駅、東口以東』  
(2003)等。金馬奨に出品された『奇跡の夏天』  
(2006)と『征服北極』(2008)、『青春ララ隊』  
(2011)、『抜一條河』(2013)など多くが劇場公開  
されている。



**周美玲** ゼロ・チョウ Zero CHOU

1969年基隆生まれ。  
ドキュメンタリー短編シリーズ『流離島影』(1999～  
2000)で監督・プロデュース。監督作品にはドキュメ  
ンタリー『コーナース』(2001)、『極端宝島』(2002)、  
『暗闇の視界』(2005/NHK 日本賞入選)、劇映画に  
『Tattoo 刺青』(2007/ベルリン映画祭ティニー賞)、  
『彷徨う花たち』(2008)、『花様～たゆたう想い～』  
(2012)等。



**劉芸后** ホホ・リュウ Hoho LIU

1976年嘉義生まれ。  
ドキュメンタリーや映画の撮影監督、カメラウーマン。  
『コーナース』では共同監督、ナレーション。周美玲監  
督の全ての作品の撮影を手がけ、公私に渡るパート  
ナー。長編映画『牆』で金鐘賞の最優秀撮影賞(2007)、  
テレビドラマ『捕浪』で金鐘賞撮影賞ノミネート(2010)。



**馬躍比吼** マーヤウ・ビーホウ Mayaw BIHO

1969年花蓮生まれ。先住民・アミ族出身のドキュメン  
タリー監督。世新大学映画コース卒業。先住民の文化、  
歴史、暮らしをテーマに作品を制作する。作品は『これ  
ぞ人生、これぞアミ族』(1998)、『請問番名(本当のお  
名前は何?)』(2002)、『酒祭の男たち』(2009)、『山裡  
の微光(山に輝く光)』(2011)等。先住民テレビ局の  
代表。2012年には中華民国立法委員選挙に出馬。ド  
キュメンタリーは私のやさしい武器だ。



**李道明** リー・ダウミン LEE Daw-Ming

国立台北芸術大学映画創作学科教授兼学科長、ドキュ  
メンタリー映画監督  
著作:『紀錄片:歴史、美学、製作、倫理』(台北:三民、  
2003)、『Historical Dictionary of Taiwan Cinema,  
Lanham, MD: The Scarecrow Press, 2013.』



**陳斌全** チェン・ピンチュエン CHEN Pin-Chuan

朝陽科技大学伝播芸術系助理教授  
著作:  
『A Critical History of Taiwanese Independent  
Documentary, 2014, Ph.D. Thesis, King's College  
London, U.K.』

[お問い合わせ先]

山形大学人文学部附属映像文化研究所  
「2015 台湾ドキュメンタリー特集」運営委員会  
TEL: 023-628-4203 E-mail: yu.tw.film@gmail.com



**陳儒修** ロバート・チェン Ru-Shou Robert CHEN

国立台湾政治大学メディア学院教授  
著作:  
『Looking at Screen Darkly: One Hundred Years  
Reflections of Taiwan Cinema (In Chinese) Taipei:  
Bookman, 2013. "20 Years after City of  
Sadness: Sound, Image, Time, Space" Paper  
presented at "Reading Hou Hsiao-Hsien"  
International Conference, Japan, 2011』



**三澤真美恵** みさわ・まみえ MISAWA Mamie

日本大学文学部中国語中国文学文化科教授  
著作:  
『殖民地的く(銀幕) — 台湾総督府電影政策之研究  
(1895—1942年)』(台北:前衛出版社、2001年)、  
『「帝国」と「祖国」のはざま — 植民地期台湾映画画  
の交渉と越境』(東京:岩波書店、2010年)



**葉月瑜** エミリー・イェー Emilie YEH

香港浸會大学伝理学部映画学科(HKBU)教授兼学科長  
著作:  
『華語電影工業:方法與歷史的新探索』(北京:北京大  
学出版社、2011)、『東亜電影工業:中港日韓』(台北:  
書林出版公司、2011)等。

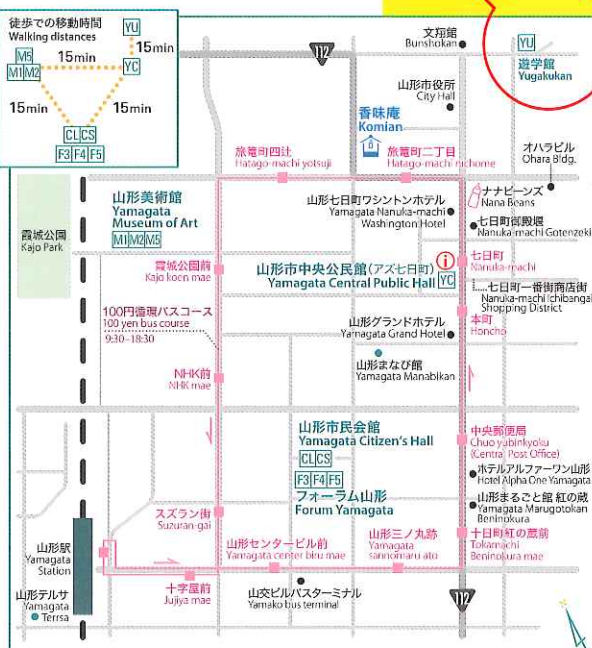
会場

## 遊学館 (山形県生涯学習センター)

〒990-0041 山形市緑町1丁目2-36 TEL: 023-625-6411

駐車場は  
ありません

- ・JR 山形駅から市役所経由路線バスで市役所前下車 徒歩5分
- ・JR 山形駅からタクシーで約5分



最新情報は下記の公式ウェブでご確認ください。  
https://www.facebook.com/taiwandocumentary



ドキュメンタリーに見る  
現代台湾の光と影

# 映像は語る

1990年代以降、  
台湾ドキュメンタリーは多彩な作り手とテーマを得て、  
社会を映し出す鏡となった。

日本初公開を含む11作品の上映と  
気鋭の研究者による発表・シンポジウムの3日間。

2015  
**10.9-11**

山形国際ドキュメンタリー映画祭は 10.8-15

遊学館 (山形県生涯学習センター)

主催: 山形大学人文学部附属映像文化研究所  
台湾文化部

共催: 公益財団法人リソナアジア・オセアニア財団、山形国際ドキュメンタリー映画祭、  
台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

協力: 東京国際映画祭、台湾公共電視文化事業基金会、パソナパソ、ドキュメンタリー・ドリームセンター  
後援: 公益財団法人山形県生涯学習文化財団、山形市、朝日新聞山形総局、一般社団法人 共同通信社山形支局、  
読売新聞東京本社山形支局、日本経済新聞社山形支局、毎日新聞山形支局、産経新聞社山形支局、  
河北新報社、株式会社テレビユー山形、株式会社山形テレビ、株式会社さくらんぼテレビジョン、  
山形放送

Documentary Speaks / Taiwan Today in Light and Shadow



# PROGRAM

入場無料

## 10.9 FRI

### 01. 金馬獎と映画史から見る戦後台湾

12:15～ 「あの頃、この時」

(原題: 那時・此刻 / The Moment)

監督: 楊力州 (ヤン・リージョウ) / 2014 / 113分

中国語圏を代表する映画賞「金馬獎」の50周年記念作品。有名監督やスターの姿と並び、台湾の一般観客が語る映画体験が、半世紀の時代の証言として輝く。

日本初上映



14:15～ 監督トーク: 楊力州 (聞き手: 葉月瑜 / 30分)

### 02. 若者たちの自分探し

14:55～ 「雑菜記」 (原題: 雑菜記 / Hard Good Life)

監督: 許慧如 (シュウ・ホイルー) / 2003 / 43分

ひとりでラーメンを作り、テレビを見ながら鍋から食べる初老の男。警備員の仕事場では居眠り。伴侶に先立たれた父の日常を娘が撮る。言葉少ない映像から父娘の絆と生活の愛おしさにじむ。

YIDFF2003 アジア千波万波  
奨励賞



15:40～ 「25歳、小学二年生」

(原題: 25歳、国小二年級 / The Spirit of 8)

監督: 李家驊 (リー・ジアホア) / 2003 / 60分

25歳になっても幼少の心の傷から離れられない監督が、じわじわとむしばむ自己嫌悪と決別しようとカメラを手にする。

YIDFF2005 アジア千波万波  
特別賞



### 03. 障害と共存する

16:50～ 「築巢人 A Rolling Stone」

(原題: 築巢人 / A Rolling Stone)

監督: 沈尚可 (シェン・コシャン) / 2012 / 54分

シングル・ファザーにとって、自閉症の30歳の息子との毎日は、まるで押し上げた重石が転がり落ちる日々の繰り返し。仕事と家事に追われながら、彼との接続の瞬間に目を凝らす。

2013 台北映画祭グランプリ (百万首賞)



### 04. 女性・ジェンダー・セクシュアリティ

18:10～ 「コーナーズ」 (原題: 私角落 / Corner's)

監督: 周美玲 (ゼロ・チョウ)・劉芸后 (ホホ・リュウ) / 2001 / 66分

同性愛などLGBTの男女が昼間の仮面をはずして自分らしさを解放できるバー、コーナーズ。幻想的な映像に、台湾社会の抑圧に身を潜める者たちの孤独と愛欲が映る。

日本初上映

台湾国際ドキュメンタリー祭 2002  
特別賞



19:30～ 監督トーク: 周美玲・劉芸后 (聞き手: 藤岡朝子 / 60分)

## 10.10 SAT

### 05. 震災のあとは

10:30～ 「三叉坑」 (原題: 三叉坑 / Three Fork Village)

監督: 陳亮丰 (チェン・リャンフォン) / 2005 / 144分

製作: 全景伝播基金会

1999年の台湾大震災直後から6年かけて先住民タイヤル族の小村を記録。進まない復興、出稼ぎ青年のUターン、集団移転や土地収用をめぐる悲喜こもごもの日々は、「311」後の日本にも突き刺さる。



### 06. 庶民と台湾の地

2005 台北映画祭グランプリ (百万首賞)

13:20～ 「無米楽」 (原題: 無米楽 / The Last Rice Farmers)

監督: 顔蘭權 (イェン・ランチュアン)・莊益增 (ジュアン・イーツェン) / 2005 / 108分

水牛を使う昔ながらの稲作を続ける老農夫。台風や酷暑、害虫や干ばつに苦勞しながら実りの季節を迎える。WTOに加盟したばかりの台湾で大ヒット、劇場公開ドキュメンタリーの先駆け。



### 07. 楽しき老年時代

15:30～ 「青春ララ隊」 (原題: 青春啦啦隊 / Young at Heart: Grandma Cheerleaders)

監督: 楊力州 (ヤン・リージョウ) / 2011 / 104分

平均年齢70歳の応援団チームが、病氣や家族の反対に負けじとポンポンを振り、ダンスのステップを踏む。スポコン映画の王道。



### 08. 先住民映像作家: マーヤウ・ビーホウ

日本初上映

17:35～ 「これぞ人生、これぞアミ族」 (原題: 如是生活、如是 Pangcah / As Life, As Pangcah)

監督: マーヤウ・ビーホウ / 1998 / 28分

18:05～ 「酒祭の男たち」 (原題: Malakacaway 倒酒の人 / Malakacaway The Rice Wine Filler)

監督: マーヤウ・ビーホウ / 2009 / 70分

アミ族の長老の世界を紹介する初期の短編と、大酒飲みの通過儀礼を担う青年たちの伝統継承を描く長編。現代台湾に生きる先住民のジレンマや本音が語られる。

日本初上映



19:30～ 監督トーク: マーヤウ・ビーホウ (聞き手: 藤岡朝子 / 60分)

## 10.11 SUN

### 09. 異郷／故郷

10:30～ 「陳才根と隣人たち」 (原題: 陳才根的鄰居們 / Chen Tsai-gen and His Neighbors)

監督: 吳乙峰 (ウー・イフォン) / 1996 / 90分

かつて国民党軍と共に大陸から台湾に渡ってきた老人たちが暮らすのは、台北の貧しいバラック長屋だった。故郷から遠く、台湾社会からも疎外され、歴史に翻弄された老人たちの心情に迫る。



### 10. 講演 & シンポジウム: ドキュメンタリーに見る現代台湾の光と影

13:00～14:20 ■ 李道明 (台北芸術大学) 「21世紀台湾ドキュメンタリーの趨勢と展望」

■ 陳斌全 (朝陽科技大学) 「1990年代以降の台湾ドキュメンタリーの特徴」

14:30～15:50 ■ 陳儒修 (政治大学) 「記録映像と原住民伝統」

■ 三澤真美恵 (日本大学) 「台湾ドキュメンタリーと移行期正義」

16:00～17:00 ラウンドテーブル: 葉月瑜 (司会・モデレーター)、マーヤウ・ビーホウ、周美玲、劉芸后、楊力州



平成27年9月4日  
山形大学

## 山形大学参加のNASAの小型衛星計画が第一次審査通過

本学の郡司修一教授が参加している小型衛星計画IXPEが、NASAの一次審査を通過しました。今回選ばれたプロジェクトは13件中3件。さらに1年後の二次審査に通過すれば2020年頃に打ち上げられ、偏光という新しいプローブで様々な宇宙の高エネルギー現象を観測します。

NASAマーシャルスペースフライトセンター(NASA/MSFC)では、宇宙の高エネルギー現象を偏光という新しいプローブで探るため、今まで未開拓であった**偏光情報**を取得できるX線望遠鏡の開発を進めてきました。本望遠鏡が稼動すれば、**ブラックホール近傍の時空の歪みの検出**や**一般相対性理論の実験的な検証**が可能になると考えられています。

山形大学の郡司教授は、**サイエンスコラボレーター**としてこのプロジェクト (IXPE)に参加し、検出器開発に対しての助言や科学的成果をあげるために必要なアドバイスを行ってきました。そして昨年度IXPE計画の提案書がNASAの中央本部に提出されたことについて、昨年12月9日の学長定例会見でお知らせしましたが、この度第一次審査に通過したとの知らせを受けました。

今回一次審査に通過したプロジェクトは13件中3件であり、3つのプロジェクトは1年後に二次審査を受けることとなります。そして二次審査に合格すれば、2020年頃に打ち上げが行われ、実際の観測がスタートします。

(お問合せ先)

所属 山形大学学術研究院 教授 郡司 修一

電話 023-628-4555

E-mail: gunji@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

第8回山形大学

# 高校生朗読コンクール

高村光太郎 作品より

群読劇

## ビルマの豎琴

原作 竹山道雄

### 日時

平成27年 9月13日(日)

開場13:00 開演13:30

(終演予定17:00)

第一部 高校生朗読コンクール

第二部 群読劇 ビルマの豎琴

第三部 表彰式

### 会場

山形市中央公民館多目的ホール

(山形市七日町一丁目2-39アズ七日町6階)

入場料 無料 (全席自由)

### 入場・応募方法

入場には事前のお申し込みが必要です。

詳細については裏面をご覧ください。

申込締切 平成27年9月9日(水)

### お問い合わせ先

国立大学法人 山形大学

エンrollment・マネジメント部社会連携課

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

Tel 023-628-4016

Fax 023-628-4491

E-Mail [embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

※電話によるお申し込み・お問い合わせは、  
平日9:00~17:00にお願いいたします。

山形大学特別プロジェクト  
いま、言葉を東北の灯に

主催 国立大学法人 山形大学

# 第8回山形大学高校生朗読コンクール～高村光太郎作品より～ 群読劇「ビルマの豎琴」

## 【朗読コンクール・群読劇について】

山形大学高校生朗読コンクールは東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘します。東北6県から応募して予選を突破した高校生たちが、福島県にゆかりのある詩人で彫刻家でもある高村光太郎の作品を朗読します。また、群読劇「ビルマの豎琴」(原作:竹山道雄)では演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん、大西多摩恵さんを招き、山形の子どもたち、一般市民の皆さん、山形大学学生とともに舞台を作り上げます。

## 【出演者プロフィール】



### 磯部 勉 (いそべ・つとむ)

桐朋学園大学短期大学部を卒業後、劇団俳優座に入団。シェイクスピア作品を中心に多くの舞台に出演。俳優座以外にも清水邦夫氏の木冬社や蜷川幸雄氏などの作品に参加。中島貞夫監督の映画『さらば、わが友 実録大物死刑囚たち』(1980年公開)で主人公の死刑囚役を演じる。また昨年の『軍師官兵衛』をはじめNHK大河ドラマに多数出演。外国映画の吹替えではハリソン・フォードやメル・ギブソン、ジョージ・クルーニーなどを担当する他、アニメの吹替え、ナレーションなども多数。



### 大西 多摩恵 (おおにし・たまえ)

仲代達矢氏の主宰する無名塾に1期生として入塾。『肝っ玉おっ母と子供たち』『リチャード三世』などに出演。2000年の退団まで23年間在籍する。永井愛主宰の二兎社で『時の物置』『兄帰る』や、こまつ座『頭痛肩こり樋口一葉』、劇団東京ヴォードヴィルショー『無頼の女房』、宮本亜門演出『金閣寺』など多くの作品に出演。『龍馬伝』(NHK)『相棒10』(EX系)などテレビドラマでも活躍。NHKの海外ドラマシリーズ『ダメージ』では主演のグレン・クロウズの声を担当。

## 【演出・出演】



### 佐藤 正文 (さとう・まさふみ)

演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術情報学部客員教授、日本大学芸術学部非常勤講師。桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プロデューサー、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年米国コロンビア大学の安部公房シンポジウムで演技術・安部公房システムを紹介。平成26年度山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師を務める。大手芸能プロダクションで演技レッスンを担当、多数の俳優を育成する。

## 【入場・応募方法】 入場には事前申込みが必要です(当日も入場を受けけます)

### ○応募方法

入場申込書に、代表者氏名、代表者住所、電話番号、同行者氏名、合計人数(5名まで)をご記入の上、郵送・電話・FAX(EM部社会連携課宛)・メールのいずれかからお申込みください。 **申込み締切:平成27年9月9日(水)**

※電話によるお申込み・お問い合わせは、平日9時～17時にお願いたします。

### 〈お申込み先〉

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

Tel: 023-628-4016 Fax: 023-628-4491 E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

### ○当日の受付方法

事前にお申込みの方はお名前を確認させていただきます。お申込みでない方は受付簿にご記名ください。

## 平成27年度 第8回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「ビルマの豎琴」

### 入場申込書

ふりがな 代表者氏名			
代表者住所	〒	—	
電話番号	—	—	FAX — —
複数人での申込みの場合は、観覧希望者全員のお名前(ふりがな)を下記にご記入ください。			
申込み人数	同行者氏名(ふりがな)		
人			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。